

「上町町内会の皆さんと町長との語る会」記録 (H27.8.4) 参加者 男性 15 人・女性 6 人

質 問 事 項 等	答 弁 等	対応課等	各課の対応
<p>事前に町内会長からいただいている鶴岡市のごみ処理施設のことについて、町長が答弁します。</p>	<p>「町長」                      現在、三川町は消防やごみ処理を鶴岡市に委託している。先に報道されたごみ処理問題について、町民の方々がごみを出せなくなるなどの心配はないということでご理解いただきたいです。なぜなら、住民に一番身近な消防やごみ処理について、住民に不便のないように行政は必ず対応しなければならないことになっています。今までの経過としては、長年、ごみ処理施設は今の場所で稼働してきましたが、途中、国の環境基準が大幅に改定され施設から排出されるダイオキシンの濃度を下げたための工事を行いました。施設は耐用年数があり、いつかは改修しなければなりません。現在、鶴岡市と三川町で2年ほど前から新たな焼却施設についてのごみ処理量と焼却方法等について検討しています。新たな施設の設置場所や施設で処理できる1日あたりの焼却量としてどれくらいを見込むかなど三川町分を含めて計画を進めてもらっていました。今まで、市長と副市長に私と副町長とで毎年のようにごみ</p>	<p>—</p>	<p>(左記の回答のとおりです)</p>

質 問 事 項 等	答 弁 等	対応課等	各課の対応
	<p>処理委託の継続のお願いをしてきましたが、6月の市議会で市長からあのような発言がありました。このたびは、委託継続のお願いを文書でしたところ、その判断についての検討委員会が立ち上げられ、検討しています。その結果、三川町のごみを受け入れられないという結論になった時は町として対応を考えていかなければなりません。</p>		
<p>①対馬のガラスハウスの今後の対応について教えてほしいです。</p> <p>②町でスポーツ少年団や部活動の全国大会出場に対する支援をお願いしたいです。</p>	<p>「町長」</p> <p>①今年度に入り、施設の管理者と地権者とで話し合いを行い、双方の考えを確認したところです。町としては、もっとも心配された周辺住民や町内会への影響がないように管理はきちんとしてほしいと伝えました。ただ、先祖から受け継いだ土地ということもあり、すぐに結論はでないと思う。</p> <p>②町としては、教育委員会で県大会以上の大会へ出場する際の支援の規程を定めている。団員や部員及び指導者についてはこのように教育委委員会や体育協会等の組織が支援しているが、同行する保護者の負担については、できる限りの支援はして</p>	<p>①産業振興課 ②教育委員会</p>	<p>①三川町花き施設園芸組合が所有する花きハウスは平成10年度から11年度年にかけて整備され切り花や鉢花の生産が開始されたところでしたが、その後の経営環境の悪化を受け平成24年には全施設で生産活動を停止し、その後は施設の維持補修等も滞っている状態となっています。これまでも施設所有者と連絡を取りながら状況の確認と対応策を模索しており、引き続き対応を協議してまいります。</p> <p>②（左記の回答のとおりです）</p>

質 問 事 項 等	答 弁 等	対応課等	各課の対応
	<p>いるつもりです。町の支援と身近な方々からの支援とを併せながらやっていくように考えていきたい。</p> <p>「副町長」 町の規程を改正し、より充実したものにしました。中学校柔道部も全国大会に出場するので、町として応援していきたい。</p>		
<p>①高齢者や子どもなど車以外で両田川橋を使っている人たちのために、架け替えが無理であれば歩道橋を造ってほしい。</p> <p>②人口問題について、若者の出会いの場がないと結婚もできず子どもも生まれなと思うので、そのような出会いの場づくりをしてほしい。</p>	<p>「町長」</p> <p>①橋の架け替えの前に歩道橋を設置することは現実的に難しいです。両田川橋は庄内空港へのアクセス道路にもなっていることから、鶴岡市や酒田市の協力を得て早期の整備について期成同盟会を立ち上げたところですが、我々の要望が形になるように、強力的に運動を進めていきます。</p> <p>②婚活事業については町内で盛んに活動してくれている方がいます。町としては、婚活事業として鶴岡市や酒田市と連携し、多く交流の機会をもつような事業をしているが、参加者は男性が少ないということでした。すぐに結婚に結びつかなくても、若者の出会いのきっかけづくりにはこれからも取り組んでいきたいです。</p>	<p>①建設環境課 ②企画調整課</p>	<p>①今年 6 月 29 日に主要地方道庄内空港立川線整備促進期成同盟会を設立しました。その事業計画では、両田川橋架け替えを最重点課題と位置づけ、関係機関に強力に要望活動を行うことにしております。</p> <p>具体的には庄内地区道路河川団体合同要望会の中で、10 月 9 日に庄内総合支庁、酒田河川国道事務所へ・10 月 15 日に、山形県庁、東北地方整備局へ・10 月 21 日に政府与党、国土交通省、財務省、総務省、地元選出国会議員へ、それぞれ要望活動を行う予定です。</p> <p>②（左記の回答のとおりです）</p>

質 問 事 項 等	答 弁 等	対応課等	各課の対応
<p>自分の孫が土口に住んでおり、この前土口の近くで不審者がでたという情報を聞いてこわくなった。土口は周辺に集落も無く、夕方になってくると危ないので、町でバスを運行するなどして対応してほしい。</p>	<p>「副町長」 以前同じような意見があり検討していくなかで、保護者によっては体力をつけさせたいので歩かせてほしいという方もおり、その家や町内会によってさまざまな考えがありました。ただ、町としては2 km以上の町内会にスクールバスを運行したり、防災無線や見守りボランティアに協力していただいたり、不審者への対応はしているつもりです。担当課に意見があったことを伝えます。</p>	<p>教育委員会</p>	<p>(左記の回答のとおりです)</p>
<p>①災害時の避難場所について、現在は各小学校等になっているが、実際に災害が発生した時にその場所に避難できるのかが心配です。町内会の公民館など、身近にある施設を防災施設としてもよいのではないのでしょうか。どの施設も建てたらどう活用していくかが重要で、古くなれば改築や修繕するなど対策をとり、長期的な目で見ての計画をお願いしたい。 また、防災訓練について町内会でも定期的に行っているが、やはり本当に災害が起</p>	<p>「町長」 ①東日本大震災が起き、国・県・市町村の地域防災計画を見直しました。この地域防災計画に基づいて各町内会の自主防災計画があり、避難訓練等を行っていただいていると思いますので、いざ災害が発生した時には、まず自分が何をすればよいのかは認識されていると思います。ただ、町では自主防災組織に対して随時指導や情報提供をしていますが、それをきちんと確認できているかは町内会で温度差があるよ</p>	<p>①総務課 ②—</p>	<p>① (左記の回答のとおりです) ② (左記の回答のとおりです)</p>

質 問 事 項 等	答 弁 等	対応課等	各課の対応
<p>こった際に訓練の効果は多少なりともあると思うので、町としても町内会への訓練の指導はこれからも定期的に行ってほしいです。</p> <p>②ごみ処理の委託について報道された時期がありましたが、鶴岡市にはその底流に「合併の推進」がまだ残っているのかもしれない。そうだとすると、これからそのような重要な町の情報はきちんと町民に知らせてほしいし、町長からは適切な判断をしてほしいです。</p>	<p>うに感じます。ぜひ町内会で機会を設けて確認をお願いしたいです。</p> <p>また、第一次避難場所は各町内会の公民館になっており、その後については役場で災害対策本部を設置し情報収集等を行い、町と町内会とで連携していく形になると思います。公共施設の耐震については経費がかかり、今すぐの対応は難しいと思います。</p> <p>②町として、合併については町民の方々それぞれ意見はあろうかと思いますが、今後、みなさんの不安が残らないように判断し、行動していきます。今後の経過は情報として確実に届け、町内会長や議会の判断も併せて進めます。</p>		
<p>ごみ処理を町内で行っていく考えはないのでしょうか。</p>	<p>「町長」</p> <p>三川町分の1日あたりのごみ処理量は約8トン、年間で約3,000トンの処理を委託しています。全国的な考え方として、ごみ処理については自治体単独でなく周辺の市町村と協力して施設の維持管理をする流れになっています。現状では経費や環境問題等を考えると、町としては鶴岡市に委託する考えです。</p>	建設環境課	(左記の回答のとおりです)

質 問 事 項 等	答 弁 等	対応課等	各課の対応
	<p>「副町長」</p> <p>町で処理施設をもつことは、焼却した物を埋立する場所やし尿処理を考えると現実的ではありません。焼却炉は一度火をつけると消すことができなくなっており、三川町には永久的に燃やすほごみごみの量はあります。また、合併の話の前に、消防やごみ処理は庄内で一部事務組合を組織し、そのなかには議会も構成されており、三川町は一定の役割を果たしてきました。今のところ委託するのが現実的だと考えています。</p>		
<p>健康マイレージ事業について教えてほしいです。</p>	<p>「企画調整課長」</p> <p>健診を受けたり、運動をしたりするとポイントが貯まり、県内協賛店でそのポイントで買い物ができたり割引になったりする制度だと認識しています。</p>	<p>健康福祉課</p>	<p>健診や介護予防教室等へ参加することにより貯めたポイントが所定の点数になった場合、「やまがた健康づくり応援カード」の交付を受け、このカードを県内の協賛店に提示することにより各種サービスを受けられるというもので、9月1日からスタートします。</p>
<p>空き家対策について、上町にも危険な空き家がある。また、空き家の活用について教えてほしい。</p>	<p>「高橋町内会長」</p> <p>上町では、町から10件の空き家について調査してほしいと依頼があり、調査の結果危険な空き家は6件ありました。そのうちの対応が必要な空き家については田中</p>	<p>企画調整課</p>	<p>(左記の回答のとおりです)</p>

質 問 事 項 等	答 弁 等	対応課等	各課の対応
	<p>議員からも協力いただいて対応している状況です。</p> <p>「企画調整課長」</p> <p>町では今年の4月から空き家解体支援事業補助金を始めました。町で把握している危険空き家のなかで、経済的に困難な方を対象に補助する内容です。また、7月15日からは建築士に委託し、空き家の実態調査を行い、危険なものなのか利活用できるものなのかを調査している。今年度中には空き家バンクのためのデータ整備をする予定です。</p>		
<p>他市町には幼児向けの屋内施設がありますが、三川町にも屋内で遊べる施設があればいいと思います。</p>	<p>「町長」</p> <p>子育て世代の保護者からも子どもを遊ばせられる屋内施設がないという意見をもらいました。町では現在そのような施設を建設する構想があり、早急に整備したいと考えています。</p>	<p>教育委員会</p>	<p>(左記の回答のとおりです)</p>
<p>8月22日に納涼祭が開催されるが、三川誕生60周年記念事業の一つのようですが、町では支援していますか。</p>	<p>「町長」</p> <p>運営は実行委員会でやっていただいて、町と観光協会が60周年を記念するイベントとして盛り上げていきたい。</p>	<p>観光協会</p>	<p>第10回を数える三川町納涼祭は、有志による自主企画の夏のイベントとして開催されてきていますので、その主体性を尊重しながら、第10回三川町納涼祭が多くの方に楽しんでいただける町誕生60周年記念イベントになるよう支援してまいります。</p>

質 問 事 項 等	答 弁 等	対応課等	各課の対応
<p>①今年、県内で認知症サポーターのキャラバンが行われたが、これに関係して町で行った取り組みがあれば教えてほしいです。</p> <p>②鶴岡市の産直に行くのと三川町よりも活気を感じました。町でも町内の産直を応援できないでしょうか。</p> <p>③上町公民館で定期的にいきいきサロンを開催しているが、活用できる空き家があれば高齢者のつどいの場所として活用できないでしょうか。</p>	<p>「町長」</p> <p>①町で認知症の認定をすることは難しく、町で認知症の方の見守り事業である「無事お帰り事業」の登録者もゼロです。認知症サポーターの地域での見守り活動には感謝しています。今回のキャラバンのように住民もサポーターも認知症への理解促進のための機会が必要だと担当課に伝えます。</p> <p>②産直利用者の方からの声として受け止めます。担当課を通して活気ある運営を働きかけていきます。</p> <p>③空き家はさまざまな活用方法が考えられます。いただいたご意見は今後の空き家対策につなげていきたいと思えます。</p>	<p>①健康福祉課 ②産業振興課 ③企画調整課</p>	<p>①認知症サポーターキャラバンは、認知症やその家族の応援者となる「認知症サポーター」を養成する取り組みです。これは市町村が実施することになっており、今年度も町として取り組んでおります。町の包括支援センターに申し込んでいただければ、こちらから出向いて講座を開催いたします。</p> <p>なお、無事お帰り事業の登録者数は8/3現在で5名です。(実質登録は4名)</p> <p>②本町には「物産館マイデル」と「産直みかわ」の2つの産直施設があります。それぞれが特色を出しながら農産品を中心にした産直商品の売上アップに努力されています、作り売る側と買う側とが相まって産直の活気が生まれるわけですので、それぞれの産直施設が取り組んでいる新たな魅力づくりをこれからも支援してまいります。</p> <p>③ (左記の回答のとおりです)</p>